

ガイダンスでの展示について

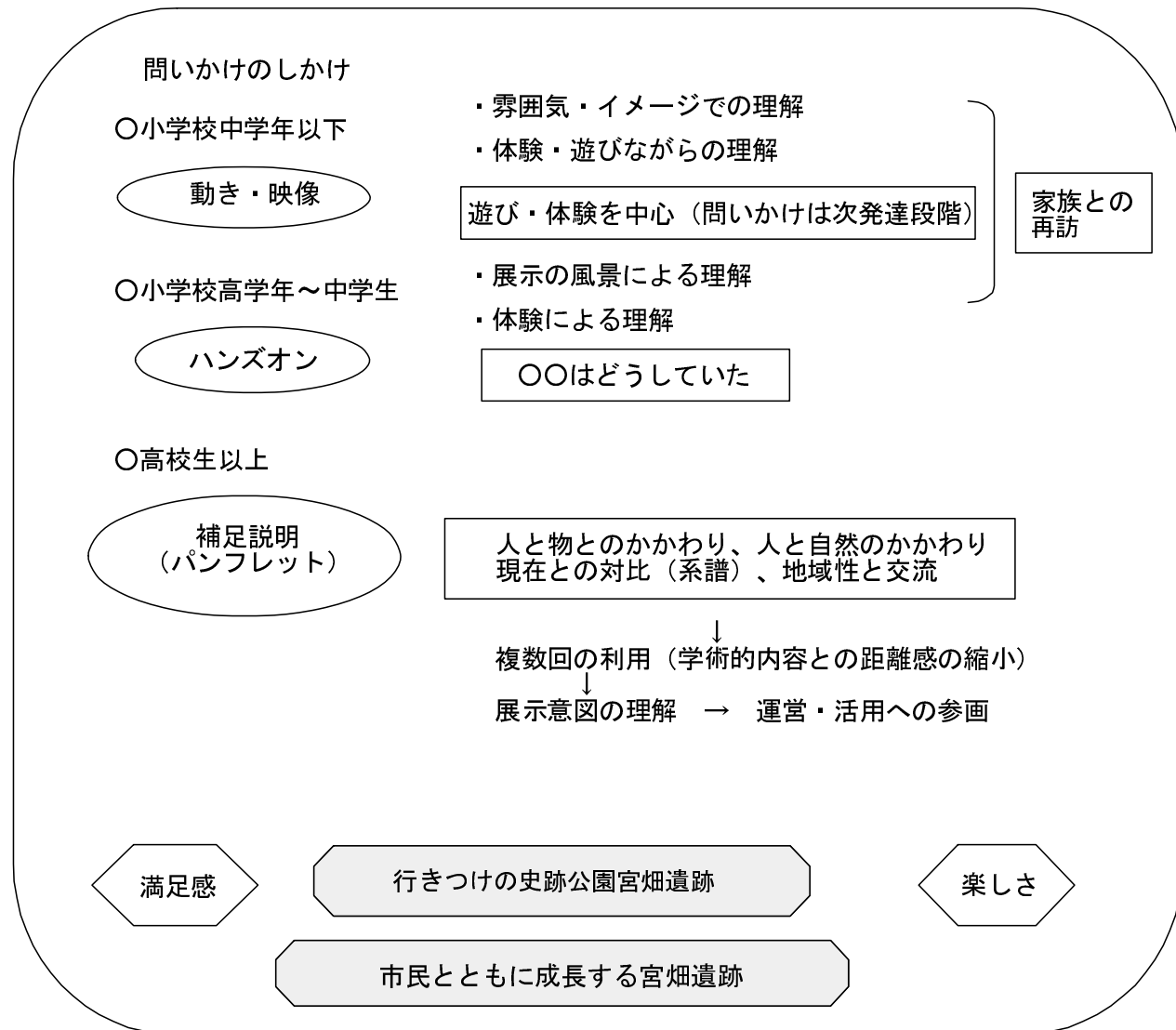
1. 理念

- (1) 宮畑遺跡の本質的価値、福島盆地の縄文時代に生きた人々の「生きる力」とともに、現在の福島市の地域性を培った先人の生活史を伝えることにより、郷土のよさを再発見できる展示とする。
- (2) 幅広い利用者が、満足感を味わうことができる楽しさを提供する空間とする。
- (3) 「市民とともに活用し成長する宮畑遺跡」のため、歴史的・自然的な情報とともに、宮畑遺跡が有する幅広い価値(活用の可能性)を伝える。

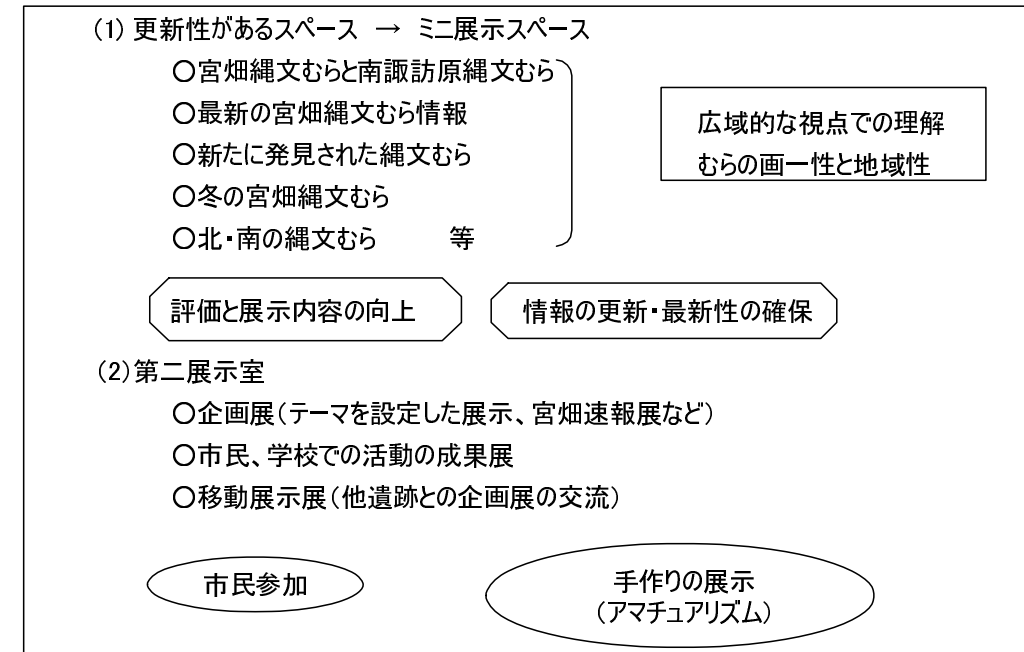
2. 方針

- (1) 宮畑遺跡の本質的価値を屋外展示と補完しながら、人々の営みの中で理解できるようにする。
- (2) 遺構・遺物が有する歴史的な価値を、さまざまな展示形態と技法により、縄文時代の空間の中で、幅広い利用者が理解できるようにする。
- (3) 福島盆地にいきた縄文人の生活と現在まで続く先人の生活を、ガイダンス全体の中に時間軸と空間軸を設定し、理解できるようにする。
- (4) 市民との協働による展示、最新の情報の更新に対応できるよう、可変展示空間を取り入れる。

3. 展示の対象



4. 市民協働の考え



5. 展示における個人化

